

■ネットいじめ防止授業の内容について

インターネット上のサービスへの書き込みには、自分自身の発言に対する「責任」がともないます。

【インターネット上のサービスに書き込んだ内容は、全世界の人に見られる可能性がある】

自分と友だちの2人だけでSNSを使ったやりとりをしているつもりでも、その内容は**全世界の人に見られている**可能性があります。SNSにおいても、設定によっては知らない人も見ることができます。情報を公開する範囲の設定を確認しましょう。



【一度、書き込んだ内容は完全に消せない】

インターネット上のサービスに書き込んだ内容は、正式な手続きを取れば、削除することもできますが、削除完了までには時間がかかります。また、その間にSNSを見た他の誰かが、勝手にその内容をコピーして、別のインターネット上のサービスに貼り付けたり、メールで送ったりすることがあります。**一度書き込んだ内容は、完全に削除できない**ことを考えておかなければなりません。



【フィルタリングサービスの利用とルール】

「フィルタリングサービス」を設定することで、危険なサイトや怪しいサイトへのアクセスが制限されます。有害なサイトに出会う可能性が少なくなり、トラブルを未然に防ぐことができます。保護者が勝手に制限をかけるのではなく、**保護者自身も知識をつけて、子どもと一っしょに話し合う**ことが大切です。「堺市立学校 スマホ・ネットルール5 “まもるんや さかい”」でも、フィルタリングサービスについて示しています。家庭での話し合いの場などで活用してください。



～堺市立学校 スマホ・ネットルール5 “まもるんや さかい” より～

ルール① やさしい言葉を選び、確認して送ろう

メッセージを送る前に、ひと呼吸考えてから送る必要があります。何気なく言ったつもり言葉が、「悪意を持った言葉」として受け取られることがあります。言葉を慎重に選ばなければなりません。

ルール② 悪口はもちろん、ぐちも書かないようにしましょう

メッセージ等で嫌なことを書かれた人は心に傷がついてしまいます。そして、スマートフォンや携帯電話を見る度に、何度も傷ついてしまうため、その傷を消すことはできません。自分が書いた内容によって、トラブルが起きた場合、自分が責任を取らなければいけないことを知っておく必要があります。

ネットいじめを起ささないためには「相手に対する思いやり」と「自分自身の発言や書き込み内容に責任を持つこと」が大切です。

■家庭におけるルールに関する現状

内容	小学生	小学生保護者	中学生	中学生保護者
利用する時間を決めている。	47.0%	59.2%	32.3%	47.1%
困ったときはすぐに保護者に相談するように決めている。	29.8%	41.6%	29.0%	44.7%
ゲームやアプリの利用料金の上限や課金の利用方法を決めている。	19.4%	27.9%	24.5%	39.6%
パスワードや電話帳情報、位置情報(GPS)などの利用情報が漏れないようにしている。	13.1%	21.0%	20.2%	23.7%
利用するサイトやアプリの内容を決めている。	17.8%	37.7%	15.8%	29.6%
他人を誹謗中傷する書き込みをしないなど、送信・投稿する内容を決めている。	6.2%	17.9%	13.8%	31.4%
メールやメッセージを送る相手を制限している。	16.3%	38.1%	10.9%	17.9%
ルールを決めている。	77.9%	89.6%	69.5%	85.6%

【平成28年度青少年のインターネット利用環境実態調査データ 平成29年3月 内閣府】

平成28年度内閣府調査によると、いずれかのインターネット機器接続を使用している保護者と小学生・中学生のうち、「ルールを決めている」と回答した割合に**“認識の差”**が見られます。

以下の内容について、しっかりと決めておくことが、トラブルに**「巻き込まれないための予防策」**として大変有効です。

- ①フィルタリングの設定
- ②利用する内容・時間・場所
- ③個人情報・誹謗中傷を書かない
- ④利用状況を、いつでも保護者に見せる
- ⑤困ったら相談する など

子どもが普段どの様に利用しているのかをチェックすることは、とても重要なことです。

■保護者として家庭でできること

お子さまと一っしょに話し合ったルールを守っていますか。



最近の携帯電話各社では、スマートフォンの販売が中心となっています。こちらについても、通常の携帯電話と同様に、「フィルタリング」を設定し、「ルール」を決めてください。

スマートフォンや携帯電話は子どもには非常に面白く、夢中になってしまいます。没頭してしまうと、睡眠不足から体調不良となるケースが多く、**学力の低下や集中力の低下、ケガが増える**傾向にあります。スマートフォンや携帯電話を使う時間が増えた結果、**自分で時間をコントロールすることができず**、学校生活を振り返った際に**「本当にしたいことに時間を使えなかった」**という子どもが多くいることも事実です。「**なぜ、ルールを決めるのか**」をしっかりと話し合うことが大切です。

ルールを決めていく中で大事なことがあります。ただ「〇〇やりなさい!」といった「行動の指示・命令」だけでなく、**保護者としてお子さまに「あってほしい姿」**を一っしょに伝えてみてください。

「**ルールにこめた保護者の想い**」を一つずつ丁寧に伝えていくことによって、ルールへの理解が深まるとともに、子ども自身が保護者から期待されていることも伝わります。ルールを一緒に考えて、一緒に守り、将来について定期的に話をすることで、スマートフォンの使い方を自分でコントロールできるように導いてあげてください。

■ネットいじめ防止プログラム【啓発サイト】

1時限の授業では伝え切れなかった内容を「ネットいじめ防止プログラム啓発サイト」で紹介しています。



パソコン用
<http://nib.sakai.ed.jp/>

スマートフォン・携帯電話用
<http://nib.sakai.ed.jp/sp/>

■ネットいじめ防止プログラム【ネットいじめ WEB相談窓口】

パソコンや携帯電話を利用したいじめ（ネットいじめ）被害で苦しんでいる人のインターネット相談サイトです。



パソコン用
http://www.sakai.ed.jp/gakkokyoikubu_soudan/

スマートフォン・携帯電話用
http://www.sakai.ed.jp/gakkokyoikubu/soudan_mobile.html